

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成20年12月11日(2008.12.11)

【公開番号】特開2007-119603(P2007-119603A)

【公開日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【年通号数】公開・登録公報2007-018

【出願番号】特願2005-313910(P2005-313910)

【国際特許分類】

C 0 8 J 5/24 (2006.01)

【F I】

C 0 8 J 5/24 C F C

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも次の構成要素 (A)、(B)、(C)、(D) を含むプリブレグであって、構成要素 (B) 100 重量部に対して、構成要素 (C) を 0.01 ~ 20 重量部含み、構成要素 (D) がプリブレグ中に 1 ~ 20 重量% 存在し、プリブレグの内部よりも表面に高濃度に分布するプリブレグ。

(A) 炭素繊維

(B) カチオン重合性化合物

(C) ルイス酸のオニウム塩

(D) 有機粒子

【請求項 2】

構成要素 (C) が、ルイス酸のスルホニウム塩及び / またはルイス酸のヨードニウム塩である請求項 1 に記載のプリブレグ。

【請求項 3】

構成要素 (B) 100 重量部に対して、構成要素 (C) を、0.1 ~ 10 重量部含む請求項 1 ~ 2 のいずれかに記載のプリブレグ。

【請求項 4】

構成要素 (D) が、熱可塑性樹脂、熱可塑性エラストマー及びエラストマーからなる群より選ばれた 1 種以上の粒子である請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載のプリブレグ。

【請求項 5】

構成要素 (D) が、ポリスルホン、ポリエーテルスルホン、ポリチオエーテルスルホン、ポリエーテルエーテルスルホン、ポリフェニルスルホン、ポリイミド、及びポリエーテルイミドからなる群から選ばれた 1 種以上の粒子である請求項 4 に記載のプリブレグ。

【請求項 6】

構成要素 (D) の体積平均粒径が 0.1 ~ 150 μm の範囲である請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載のプリブレグ。

【請求項 7】

構成要素 (D) の 90% 以上が、プリブレグの表面からの厚さの 30% 以内に局在化している請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載のプリブレグ。